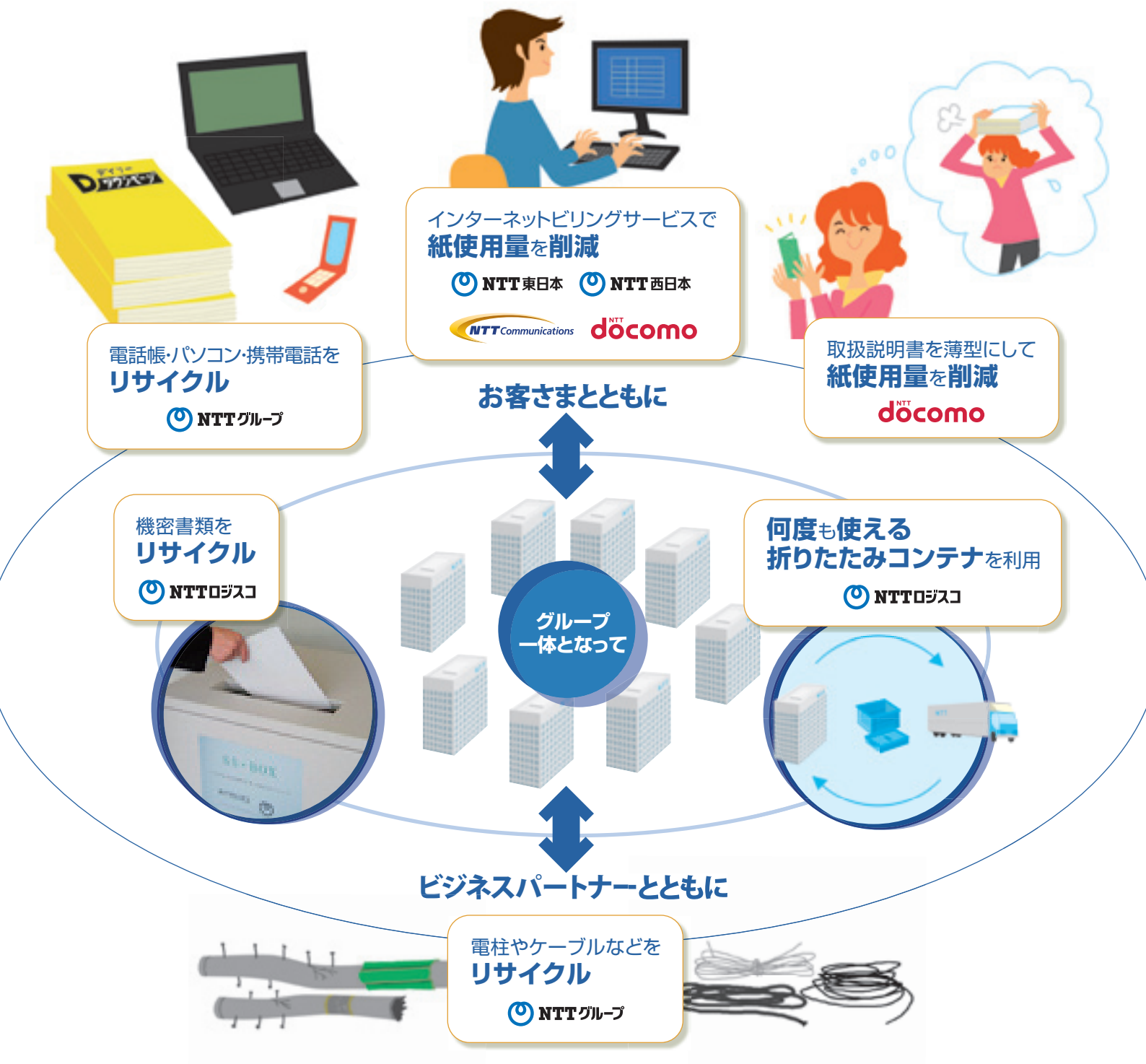
廃棄物削減・紙資源削減

循環型社会の形成をステークホルダーの皆さまとともに

NTTグループが提供している製品やサービス、それらを支える通信設備は、技術革新や耐用年数などに応じた定期的な更新を必要とします。そうした更新にともなう廃棄物の発生を抑えるために、NTTグループは不要になった通信機器・設備の回収・リユース・リサイクルを、お客さまやビジネスパートナーとの連携のもとに推進しています。また、事業活動にともなう廃棄物の発生抑制や、ICTを利活用した紙使用量の削減など、さまざまな面から循環型社会の形成に貢献しています。



Topics 1

携帯電話やパソコン、電話帳などの回収・リサイクルを推進

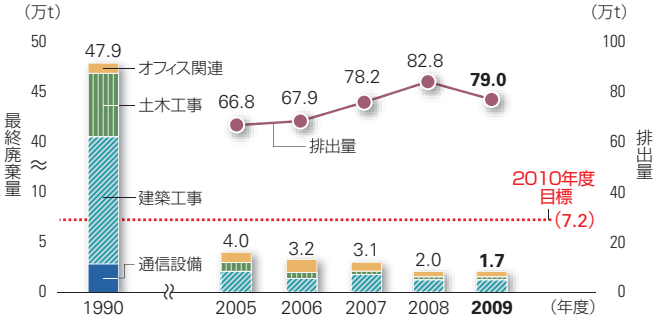
NTTグループ

NTTグループは、不要となった携帯電話をはじめ、電話機やコードレスホンなどに使われる小型二次電池（ニカド電池、リチウムイオン電池）、ファクスに使われるトナーカートリッジなどを回収し、資源として再利用しています。こうした取り組みを社会全体で積極化させるために、お客さまに回収を呼びかけるとともに、グループ社員やその家族を対象とした回収活動を実施しています。

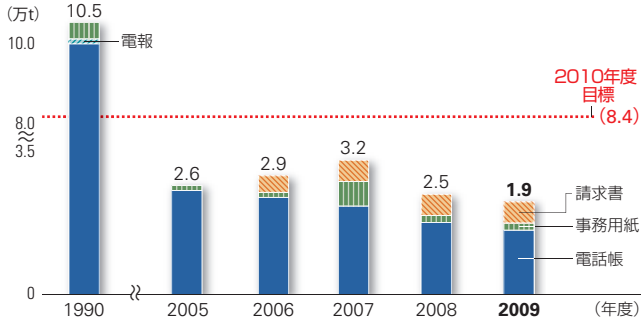
また、お客さまにご利用いただいているIP系通信機器の回収・リユースや、企業において不要となったパソコンを回収・リユースする「IT機器回収サービス」など、積極的なリユースによって廃棄物削減と資源の有効活用に貢献しています。

さらに、回収した電話帳を電話帳用紙に再生して新しい電話帳に利用する「クローズドループリサイクル」を確立するとともに、インターネットやメール、携帯端末からでも請求明細などを確認いただける「インターネットビリングサービス」の提供を通じて、お客さまの廃棄物削減と社会全体での紙資源の使用削減に貢献しています。

最終廃棄量と排出量



純正パルプの使用量



※ 2006年度より請求書を集計対象として追加。

Topics 2

通信設備の建設・撤去時の廃棄物を回収してリユース・リサイクル

NTTグループ

NTTグループは、電柱、交換装置、通信ケーブルなどの通信設備を保有しています。これらの設備は、耐用年数の経過や新サービスの提供などによる設備更改にともない、撤去する必要が生じます。撤去した通信設備については、NTTグループ内でリユースやリサイクルを推進しています。例えばコンクリート塊などの廃棄物を路盤材に再資源化するなど、可能な限りリサイクルしています。

2009年度は、NTTグループ全体で、コンクリート電柱19.7万t、交換装置1.7万t、通信ケーブル2.2万tをリサイクルしました。その結果、通信設備全体でのリサイクル率は99.9%になり、6年連続でゼロエミッション※を達成しました。

※ **ゼロエミッション**
国連大学が提唱した構想で、産業から排出される全ての廃棄物や副産物がほかの産業の資源として活用され、全体として廃棄物を生み出さない生産を目指そうとするもの。NTTグループでは、最終処分率1%以下をゼロエミッションと定義。

Topics 3

折りたたみコンテナと機密書類回収ボックスによる廃棄物削減

NTTロジスコ

不要機密文書の回収ボックス（SS-BOX）

NTTロジスコは、輸送・保管時の梱包資材として、ダンボールの代わりに、何度でも繰り返し使用できる「折りたたみコンテナ（オリコン）」を利用することで、廃棄物量の削減に努めています。オリコンの利用により、2009年度は輸配送において29.4万個、保管において1.6万個相当分のダンボールを削減できました。

またNTTロジスコでは、企業から排出される大量の不要機密文書を安全かつ簡便に回収・処理する独自のリサイクルシステムを構築。NTTグループ各社やお客さまの事務所にセキュリティボックス（SS-BOX）を設置し、廃棄された書類を回収・溶解処理して、梱包用の緩衝材やトイレットペーパーにリサイクルしています。2009年度は約13,000tの機密文書を回収・リサイクルしました。